



大地震だいじしんが起おこってひなんするときは、どんな服装ふくそうをしたらいいの

防災頭ぼうさいずきんかヘルメットをかぶる

ひなん場所ばしょへひなんするとき、屋根やねがわらやガラスのかけらなど、いろいろな物ものが落おちてくるおそれがあります。それで、防災頭ぼうさいずきんか、ヘルメットなどをかぶります。

ひなん先さきの公園こうえんや、学校がっこうの体育館たいいくかんなどでは、地面じめんやゆかの上に直接ちよくせつ座すわったり、寝ねたりすることもあるので、ハイキングや、キャンプいに行くときのような服装ふくそうが、役やくに立たちます。また、冬ふゆは多おおめに着きるようにします。

底そこの厚あついくつをはく

地震じしんのあとの道路どうろには、屋根やねがわら、コンクリートのかけら、割われたガラスなどが、散ちらばっていることがあります。それに、火事かじで道路どうろが熱あつくなっていることもあります。

底そこのうすいゴム底そこのくつでは、足あしにけがをしたり、底そこがとけてしまうことがあります。それで、底そこの厚あつい、トレッキングシューズのような、くつをはくようにします。

(監修・国司 真)

